

(様式1)

令和2年5月22日

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立高岡南高等学校
校長 嵩田 豊

令和2年度(2020年度)学校経営計画を別紙(様式2・3)とともに提出します。

令和2年度(2020年度) 学校経営計画

1 学校教育目標

校訓「心を蓄え以て道を窮む」のもと、真理を探究する態度を養い、高潔な品性を育て、健康で明朗な人間形成を目指す。

2 学校の特徴

本校生徒には、将来、各分野でグローバルな視野を持ったリーダーとして活躍することが期待されている。そこでその期待に応えられる資質を備え、自主性や自律性に優れた生徒を育てるため、国際的な視野に基づいた教育活動を実践している。

また、生徒は自ら進んで勉学に励むとともに、学校行事や部活動、ボランティア活動にも意欲的に取り組んでおり、学校全体は活気がある。

本校では進路教育を「キャリアデザイン・プロジェクトS」と位置づけ、総合的な探究の時間等を利用して、成長に合わせた進路研修を実施している。1年次には地域や同窓会、保護者に協力を仰ぎ、生徒への職業観や働くことへの意義を考えさせる「キャリアデザイン・ゼミナール」、1年次の後半から2年次にかけて、地元の国立大学と連携して自分たちで見つけた課題を、専門的な学問にも触れながら解決の糸口を探っていく課題研究発表や、進路全体を通して考える「キャリア講演会」、1・2年次の夏には「大学探検」などを実施している。

また、人文科学コースでは、「コミュニケーション能力や専門性の高い人材を育成する」ことを目標に、体験学習を中心に専門的で特色のある学習や活動を取り入れ、国内だけでなく世界において、リーダーとして活躍できる総合的な能力を身に付けさせる。

3 学校の現状と課題

生徒がグローバルな視点で、各分野のリーダーとして活躍できるような資質を身に付けるため、学校行事のみならず、学習活動全体においても、生徒が主体的に活動する場面を設定し、生徒自らが企画・運営する機会が必要である。そのために、従来から実施しているキャリア教育を発展・充実させた探究的な学習や、海外研修などの生徒の意欲を喚起する取り組みが重要となっている。そこで、人文科学コースの特色化をさらに図るとともに、学校の教育活動全体において、自己表現力を身につけさせ、世の中の諸課題に対応していくことができる課題解決能力が身につくよう教育内容を充実させていきたい。

そして、これらの取り組みを広く外部に発信することで生徒の自信にも繋がり、外部の評価を受けることにより、生徒だけでなく教員の資質向上にも繋がると考えられる。

また、学校運営をより円滑に行うために、今年度も4つの「学校課題小委員会」を設ける。本校の抱える課題を調査・研究することにより、職員全員で共有することが期待される。